

第3次紀の川市長期総合計画 基本構想（素案）

第1章 将来像とまちづくりの目標

1. 市の将来像

「みんなでつなげる わくわくの未来 実りあふれる 住みたいまち」

【将来像に込めた思い】

人口減少や少子高齢化といった「現状維持が限界を迎えている局面」をただ受け入れるのではなく、本市は「愛すべきこのまちを責任を持って次代につなぐ」という強い意志を持っています。

市の豊かな自然、全国に誇る農産物、そして先人が築いた歴史や文化という「実り」を大切にし、それらを新たな知恵と技術で次世代へと「つなげる」ことで、誰もが未来に希望を持ち、挑戦できる「わくわくするまち」を目指します。

市民一人ひとりが主役となり、地域の絆を感じながら、「ずっとここで暮らしたい」と思える、心地よいまちを共に創り上げていきます。

みんなでつなげる

地域や世代を越えてこれまでの歩みを大切に受け継ぎながら、一人ひとりが主役となって楽しむことができる未来をみんなでつなげていきたいという思いを表現しています。

わくわくの未来

だれもが明日に期待を膨らませ、未来に希望を持ち、挑戦できる活気ある社会を築いていきたいという思いを表現しています。

実りあふれる

紀の川が誇る豊かな自然や多様な農産物、紡がれてきた歴史、文化を大切に育むことで、人々の心に豊かさが満ち、笑顔が実りあふれてくるようなまちにしたいという思いを表現しています。

住みたいまち

紀の川に根づく温かな地域の絆を実感しながら、子育てや医療、仕事が充実できる、安心安全に暮らせるなど、ずっと住み続けたい、これから住んでみたいと思えるまちを表現しています。

2. まちづくりの目標(政策目標)

将来像で掲げた「つなげる」「わくわく」「実り」「心地よい」といった想いを実現するため、以下の5つの目標に取り組みます。

① まちづくりの目標1 ひとづくりと地域づくり

「ひととまちが煌めき、実りあふれるまちへ」

- ✓ 性別や年齢、国籍などに関わらず、誰もが個性と能力を発揮しながら煌めき、将来にわたって人と人とのつながりや地域コミュニティを大切にして暮らしていけるまちづくりを進めます。
- ✓ 子どもの健やかな成長と子育て家庭を支えるため、デジタル技術も活用しながら安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- ✓ 子どもたち一人ひとりが自分の可能性を信じ主役となって個性を伸ばせ、世界へ羽ばたく力を身に付けられるよう、ICTなどの新たな技術も取り入れた教育環境づくりに取り組むとともに、生まれ育った地域に愛着、誇りを持つ子どもの育成を進めます。
- ✓ 人生のあらゆる段階で新しいことへ「挑戦」できる機会を広げるとともに、地域全体が学びの場となり培った知恵や経験がまた誰かの学びへのつながるような「挑戦のめぐり」を創り出します。

② まちづくりの目標2 しごととにぎわい

「はたらく場を生み、こころおどるまちへ」

- ✓ 豊かな自然や歴史文化を地域資源として活用した紀の川市ならではの観光サービスや紀の川市発のブランド開発を通じ、関係人口が拡大し活気あるまちづくりを進めます。
- ✓ 広域的な交通アクセスなどの立地をいかした企業誘致や、スマート農業の推進など地元企業や若者がチャレンジできる環境の整備により、地域の「実り」を稼ぐ力に変え、雇用が充実したまちづくりを進めます。
- ✓ 観光、歴史、文化を通じて多くの人々が紀の川市を訪れることで、たくさんの人でにぎわい、わくわくするまちづくりを進めます。

③ まちづくりの目標3 くらしと環境

「みんなの力で安全で安心して暮らせる、持続可能なまちへ」

- ✓ 地震や気候変動などあらゆる災害に強いまちを築くため、自助の意識づけと共助の連携、さらに先進技術の活用による防災文化を醸成し、市民がより安心して暮らせるまちづくりを進めます。

- ✓ 多様化・凶悪化する犯罪、交通事故などから一人ひとりの命と暮らしを守るため、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりを進めます。
- ✓ 紀の川市の清らかな水と緑、四季折々の風景を守りながら、脱炭素社会への移行を見据えた再生可能エネルギーや省エネなど環境負荷の少ないまちづくりを進めます。
- ✓ 市民生活に身近な道路の計画的な整備や、移動のしやすさと暮らしやすきの両立のため公共交通の維持・発展を進め、どこに住んでいても心地よいまちづくりを進めます。
- ✓ 街灯や下水道など、生活基盤の強靱化や維持管理計画を計画的に行い、ずっと住み続けたいまちづくりを進めます。

④ まちづくりの目標 4 つながり

「人と人がつながり、やさしさと笑顔があふれるまちへ」

- ✓ 地域のつながりによる支え合い・助け合いを基本に、一人ひとりが主役となり、より幸せに生きていける地域共生社会の実現に向け、市民の暮らしや生きがいを支えるまちづくりを進めます。
- ✓ 子ども、高齢者、障がいの有無に関わらずすべての人が、生涯を通じて健やかに暮らすことができ、支援が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく心地よく暮らせるまちづくりを進めます。
- ✓ 地域活動や住民活動を支援することにより、市民が活発に交流できる地域づくりを進めます。
- ✓ 医療・介護サービスを充実させながら、データ活用による予防医療など、多くの人が健康づくりに親しみ、心身ともにすこやかに暮らすことができるまちづくりを進めます。

⑤ まちづくりの目標 5 しくみと共創

「住民と行政が、ともに創るまちへ」

- ✓ 市内外の人が定住したいと思える魅力を高めるとともに、市民の紀の川市への愛着や誇りなどを醸成し、効果的に発信することで選ばれるまちづくりを進めます。
- ✓ 限られた財源と人材の中で、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進により最大の成果を生む行財政運営に努めるとともに、県や近隣市町との広域連携を強化し紀の川市だけでは解決できない課題にも共創で挑みます。